

2021年度 事業計画

1. 社会福祉法人黒松内つくし園の理念

◆基本理念◆

多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又はその有する能力に応じ自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう、低所得者に対する減免等を行い、利用者の自立を支援し、障害者の就労支援をすることを目的として、社会福祉事業を行う。

社会福祉法人黒松内つくし園 倫理綱領

(平成25年4月1日宣言)

前 文

わたし
私 たち役職員一同は、創立の理念を実現し、民間社会福祉事業の発展に努めます。

第1条 利用者主体

私たちは、自由と平等の精神に則り、利用者主体のサービスを提供します。

第2条 自立支援

私たちは、利用者の自立支援を目的とし、常に利用者の幸せのために努力します。

第3条 専門性

私たちは、利用者の^{いのち}生命と^{くらし}生活を守るため、専門的な知識・技術の習得に努めます。

第4条 社会貢献

私たちは、地域住民の一員として、新しいニーズに対応し社会に貢献します。

2. 2021年度 事業方針

●社会福祉法改正により、ガバナンス強化や事業運営の透明性向上、財務規律の強化、地域での公益的取組の充実などが求められています。当法人では、制度に対応した組織作りと内部統制・本部機能強化に向けて取り組んでまいりました。

本年度は、新たな中期事業計画のもと、事業方針と将来的なビジョンを法人全体でさらに共有して運営を行います。また、法人事業の再編と経営の健全化をさらに進め、内部統制の強化と本部集中化の推進等を加速させてまいります。そして、地域福祉の向上ために、社会福祉法人としての役割と使命を果たすため、役職員一丸となって事業運営に取り組んでまいります。

●法人事業方針

- *法人基本理念・倫理綱領に沿った事業展開を行う。
- *利用者・職員・地域住民の幸せを実現するため事業を行う。
- *法人一体経営へ向けた取り組みや本部機能の強化をさらに推進する。
- *法人事業の再編を継続し、健全経営に向けた事業再構築を行う。
- *中長期事業方針と将来的なビジョンを法人全体で共有して事業を行う。

3. 重点目標

- 1、利用者主体の自立支援に向けた良質なサービスを提供する。
- 2、サービス計画・提供体制の定期的な点検を行い施設サービス向上を図る。
- 3、中長期事業計画に基づいた将来的なビジョンを、役職員が共有して一丸となった事業運営体制を構築する。
- 4、事業再編を継続し、経営の健全化へ向けた事業再構築を検討・実施する。
- 5、人材の確保・定着・育成のための取り組みを強化し、働きやすい職場環境の提供と職員への待遇改善に取り組む。
- 6、外国人介護職員の確保をさらに進め、新たな住宅確保の検討を行う。
- 7、内部統制・本部機能強化をさらに進め、法人一体運営への取り組みを行う。
- 8、旧緑ヶ丘ハイツ建物の利用方法の検討をさらに進め、将来的な構想を決定し、計画立案と地域・行政との協議を行っていく。
- 9、コロナ禍での地域貢献事業の継続と推進を図る。

4. 事業実施計画

(1) サービスの質の向上

- ① 基本理念と法人倫理綱領である「利用者主体」「自立支援」に向けた良質なサービスを全事業所で提供するための取り組みを行う。
- ② 各施設・事業所で利用者サービス計画の内容を再検討し、サービスの質の向上を目指す。
- ③ 利用者サービス計画・提供体制の点検を、四半期ごとの内部監査で確認と指導・改善を行う。
- ④ 虐待防止委員会を定期的で開催し、全事業所での虐待防止の徹底と事業所間の情報共有、発生件数ゼロに向けての取り組みを強化する。
- ⑤ 苦情解決委員会の定期的実施により、苦情内容の情報共有化と苦情件数の削減への取り組みを行う。
- ⑥ リスクマネジメント委員会を随時開催して、事故・災害、新型コロナウイルス感染症等のリスクへの取り組みと対応を共有し、BCPの更新を行う。
- ⑦ 事故・ヒヤリハット件数を前年度より1割削減するため、事例・対策の法人内共有を強化する。

(2) 中長期ビジョンへ向けた取り組み

- ① 社会福祉事業の経営環境が厳しい中、2018年度から5ヶ年の中期事業計画を修正した新たな将来的ビジョンを役職員で共有し取り組んでいく。
- ② 中期事業計画に基づいた施設整備計画と資金調達、計画推進への取り組みを、法人各事業所が共有し一体となり行っていく。
- ③ 俱知安地区や泊村むつみ荘、緑ヶ丘ハイツの運営課題と中長期的視野に立った事業の再編を行う。
- ④ 児童養護施設の小規模化への対応に向けて、定員減少を段階的に行い、町内・他町村での運営の検討を進める。
- ⑤ 介護保険・障がい者自立支援法改正に合わせた事業展開・事業所運営体制に計画的に取り組んでいく。
- ⑥ 旧緑ヶ丘ハイツ建物を有効活用した、複合施設（児童ディサービス・障がい者グループホーム・職員住宅の融合）への検討をさらに具体的に進め、将来的な構想の決定と計画立案、地域・行政との協議を行っていく。

(3) 法人事業の再構築

- ① 法人の経営環境が依然厳しい中、中長期ビジョンに基づいた事業の見直しを行い、定員や不採算事業所の統廃合等の検討をさらに推進する。
- ② 俱知安地区の事業再編を継続し、経営改善に向けた取り組みをさらに検討・実施していく。
- ③ 泊村むつみ荘の運営・管理、事業の再編と経営改善、次年度の指定管理更新に向けた検討を行う。

- ④ 緑ヶ丘ハイツの健全経営へ向けて、職員確保による利用稼働率・収益率の向上と、満床（80床）での運営に向けた課題の検討を行う。
- ⑤ 緑ヶ丘老人ホームの利用定員80名での適正な事業運営体制の再構築と、特定入所サービス体制変更による増収を図る。
- ⑥ 介護・障がいそれぞれの事業所での報酬体系・加算変更への対応とサービス提供、効率的な法人運営を行うための検討を進める。
- ⑦ 介護保険事業所間で一体的な事業展開とサービス提供、情報連携を強化し、各事業所の稼働率向上に繋げる。
- ⑧ 旧緑ヶ丘ハイツ活用方法や外国人向け住宅の整備、各事業所での大規模施設整備計画を計画的に立案・検討・実施し取り組む。

（４）人材確保と職員育成

- ① 人材センターと法人本部人事部門による学校訪問、職場ガイダンス、オンライン面接への取り組みを強化し、新卒者・中途採用者の確保増を図る。
- ② 中堅・幹部職員の育成に向けた教育・研修体制の強化に取り組み、将来の幹部候補への事業方針・経営ビジョンの浸透を図る。
- ③ 外国人介護人材の確保へ、今年度にベトナム人技能実習生2期生追加1名と3期生4名程度の採用を予定。特定技能カンボジア人の確保も検討中。
- ④ 外国人介護人材の雇用環境・研修体制強化と生活環境・福利厚生等のサポートを充実させ、働きやすい環境を提供する。
- ⑤ 外国人職員住宅の追加整備を検討し、地域社会との積極的交流等を支援するなど、日本での生活のサポートを法人・事業所で協力して行う。
- ⑥ ホームページやSNSを活用し、職員募集に繋がるための情報発信をタイムリーに行う。
- ⑦ 福利厚生の充実等の実施を継続。また、施設体験実習の無料化も継続し、採用増に繋がるための取り組みを積極的に行う。
- ⑧ オンライン研修を有効活用して、各職種の職員の目的・レベルに合った研修体系を創り、職員育成と定着への取り組みを行う。
- ⑨ 心の健康づくり計画とストレスチェックなどのメンタルヘルスケア、適切な労務管理により、働きやすい職場環境の整備と職員定着に取り組む。

（５）職員の待遇改善への取り組み

- ① 働き方改革に対応した取り組み、同一労働同一賃金の仕組みづくりにより、臨時・パート職員の待遇改善と働きがいのある職場環境の整備を実施する。
- ② 制度に合った就業規則と給与規程を整備し、職員への理解と浸透を図るとともに、待遇改善によるモチベーションの向上を図る。
- ③ 人事考課制度と処遇改善手当・特定処遇改善手当の支給を継続し、職員の待遇改善への取り組みを進める。
- ④ 勤怠管理システムの運用開始を早期に行い、適切な労務管理と業務・労働環境改善に取り組む。
- ⑤ 育児・子育て、介護休暇取得、新型コロナ関連休業等への対応を進め、仕

事との両立支援と職員が働きやすい職場環境の提供を行う。

- ⑥ 介護ロボット、ＩＣＴ事業の積極的導入により、職員の負担軽減と利用者サービスの向上へ向けた追加導入を検討・実施する。

（６）法人本部機能強化の推進

- ① 内部統制のための規程整備・仕組みづくり、コンプライアンス強化、各種手順のマニュアル化等をさらに推進する。
- ② 法人内情報系システムで各規程・様式・マニュアル等の最新情報を更新し、規程と法人内ルール・各事務様式の提供等を進める。
- ③ 法人本部の人事・財務・総務各部門が業務改善と効率化・集約化をさらに進め、各事業所の事務負担軽減を図る。
- ④ 法人本部での人事・給与システムの運用一本化を見据え、本年度は勤怠管理システムの導入に伴い、給与システムとの連携を行うとともに、給与締め日の変更を検討・実施し、開始へ向けて職員への周知を行う。
- ⑤ ほのぼの人事・給与システムと介護・障がい請求ソフトをほのぼの財務会計システムに連動させて、事務負担軽減と会計の正確性・効率性向上を図ることを検討する。
- ⑥ 会計監査法人の監査・指導を受け、適正な会計処理・財務諸表開示を行う。
- ⑦ ＲＦＩＤタグを活用した固定資産管理システムの運用をさらに進め、適切な固定資産管理と会計処理を行う。
- ⑧ 内部監査の体制を再整備し、四半期ごとに定期的に内部監査を実施し、法人内の業務・リスク点検とコンプライアンスを強化する。特に、利用者サービス計画・内容の点検を強化し、サービスの質の向上に繋げる。

（７）地域貢献事業の推進

- ① それぞれの事業所で社会貢献事業基本要綱をもとに各拠点で１つ以上の公益的事業を実施する。また、地域福祉のさらなる推進と地域住民・利用者・職員の交流を図る。
- ② コロナ禍での地域貢献事業の提供の在り方を再検討し、適切な取り組みを行う。
- ③ 黒松内保育園の社会貢献事業として、一時預かり保育の事業展開を行う。また、黒松内町白井川・作開地区等の保育児童送迎の要望があり、町と協議して３月より試行運行を重ね、事業実施の可否を検討中。
- ④ 黒松内町社協のふれあいまちづくり事業への支援と各事業の開催を継続し、地域と施設利用者・職員の交流を深める。
- ⑤ 外国人職員と地域の交流を深め、関係機関・地域住民の協力をいただきながら多文化共生社会の実現を目指すための取り組みを行う。
- ⑥ 一時保護委託の受入れ、土曜学童保育、生きがいディサービス事業、配食サービス、奨学資金支給制度等の社会貢献事業を継続していく。
- ⑦ 介護保険施設等での低所得者の福祉サービス利用への負担軽減措置を、自治体と連携して継続実施する。

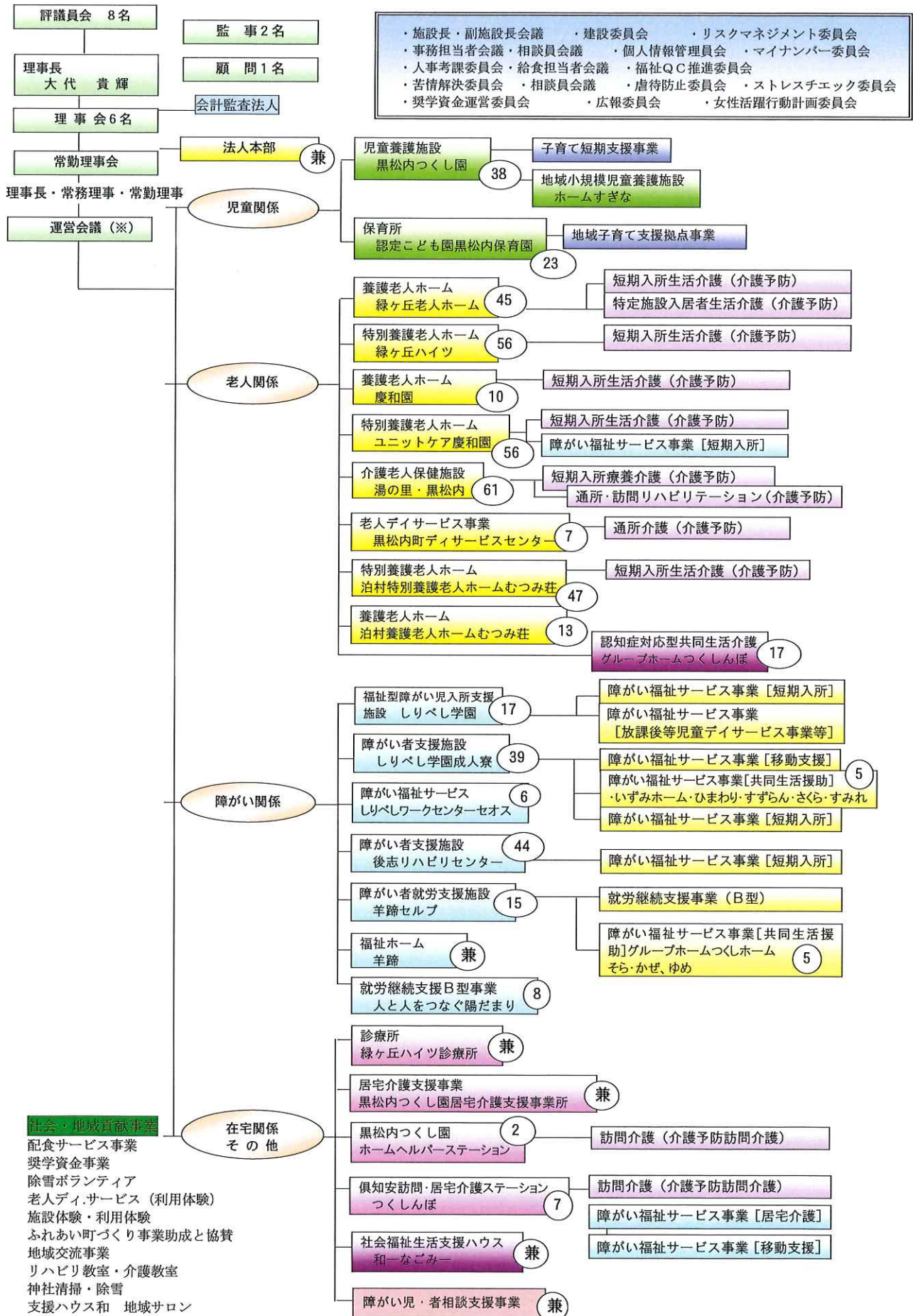
- ⑧ 老人福祉施設慶和園で、北海道の「在宅要介護者等受入体制整備事業」に協力し、介護者が新型コロナウイルス感染症に罹患して入院した場合等に、濃厚接触者となった在宅要介護者を一定期間受け入れ、短期入所サービスの提供を行う。同補助金を活用して慶和園2階を整備し、北海道から要請があった場合、新年度から受け入れを実施する。
- ⑨ 施設の利用者と職員の地域行事への参加や消防活動・避難訓練等への協力、施設行事への住民参加を積極的に促す。
- ⑩ 各町村や各町内会と連携し、職員・利用者によるゴミ拾いや資源回収、除草・除雪ボランティア活動を継続的に実施する。
- ⑪ ボランティア・インターシップ・施設見学・交流スペースの開放等の公益的取組の実施を積極的に継続する。
- ⑫ 就労体験・福祉実習・利用体験での食費・宿泊費無料による受け入れを継続する。また、各学校の福祉職場体験等の受け入れを積極的に行う。



社会福祉
法人

黒松内つくし園組織機構図

2021年4月1日現在



※注1 施設・事業所名にある○内の数字は、職員数。なお、「兼」は、職員が他施設・事業所と兼務。

社会福祉法人 黒松内つくし園 理事・監事・評議員

2021年4月1日 現在

役職	氏 名	就任年月日 (理事等)	在任期間		改選	経歴等
			年	月	現職	
理 事	理 事 長 大 代 貴 輝	2011/8/24	9	7	2019/6/25	福祉施設長
	常務理事 遊 部 眞 澄	2017/6/20	3	9	2019/6/25	福祉施設長
	業務執行理事 岡 久 孝 雄	2013/3/26	8	0	2019/6/25	福祉施設長
	茂 尾 実	1991/3/1	30	1	2019/6/25	社協理事経験・地域の福祉実情に見識を有する
	澁 谷 剛	2017/6/20	3	9	2019/6/25	福祉施設長
	吉 田 剛	2019/6/25	1	9	2019/6/25	福祉施設長
監 事	坂 口 進	2019/6/25	1	9	2019/6/25	人権擁護委員・元町職員
	追 立 司	2019/6/25	1	9	2019/6/25	福祉施設長
評 議 員	稗 田 静 男	2007/8/21	13	7	2017/4/1	元福祉施設長・全国老施協役員経験
	中 畑 英 司	2013/8/21	7	7	2017/4/1	元福祉施設長・泊村社協理事
	小 泉 満	2017/4/1	4	0	2017/4/1	地域代表・自営業・元JA理事
	片 桐 澄 子	2017/4/1	4	0	2017/4/1	地域代表・元町職員・社協評議員
	松 田 政 敏	2017/4/1	4	0	2017/4/1	地域代表・元町職員
	高 木 晴 光	2017/4/1	4	0	2017/4/1	NPO法人代表・学識者
	高 橋 一 彦	2017/11/25	3	4	2017/11/25	福祉施設長、道社協評議員、道養協会長
	本 間 崇 文	2017/11/25	3	4	2017/11/25	黒松内町観光協会事務局長
評議員選任・解任委員	畑 井 信 男	2017/3/1	4	1	2017/3/1	町議会議員
	坂 口 進	2019/6/25	1	9	2019/6/25	人権擁護委員・元町職員
	佐 々 木 司	2019/1/29	2	2	2019/1/29	法人事務長
顧問	谷 口 徹	2009/5/25	11	10	2019/6/25	元町長・社協会長

施設長・副施設長名簿

2021年4月1日 現在

施 設 名		職 名	(ふ り が な) 氏 名	就任年月日	
児童養護施設	黒松内つくし園	理事・施設長	おか ひさ たか お 久 孝 雄	平成23年4月1日	
地域小規模児童養護施設	ホームすぎな				
子育て短期支援事業	黒松内つくし園			副施設長	ふじ た つよし 藤 田 剛
養護老人ホーム	緑ヶ丘老人ホーム	理事・総合施設長	よし だ たけし 吉 田 剛	令和3年4月1日	
短期入所生活介護事業		施設長	かじ や ゆき ひろ 梶 谷 幸 弘	令和3年4月1日	
特定入居者生活介護					
訪問介護等事業				黒松内つくし園ホームヘルパーステーション	
居宅介護支援事業				黒松内つくし園居宅介護支援事業所	
老人ディサービス事業	黒松内町ディ・サービスセンター	副施設長	おか ひさ けん いち 岡 久 健 一	令和2年2月1日	
福祉型障害児支援施設	しりべし学園	施設長	と がし こう き 富 樫 孝 貴	令和3年4月1日	
短期入所事業					
移動支援事業					
児童ディサービス					しりべし学園児童ディサービス事業所
日中一時支援					しりべし学園日中一時支援事業所
障がい者支援施設	しりべし学園成人寮	常務理事・施設長	あそ べ ま すみ 遊 部 真 澄	平成30年4月1日	
短期入所事業					
就労支援事業					しりべしワークセンターセオス
共同生活援助					いずみホーム
特定相談支援事業所					黒松内つくし園特定相談支援事業所（障害児）
特定相談支援事業所	黒松内つくし園特定相談支援事業所				
障がい者支援施設	後志リハビリセンター	施設長	く どう あつ こ 工 藤 敦 子	平成30年4月1日	
短期入所事業		副施設長		せい の のぶ あき 清 野 伸 晃	平成30年4月1日
特別養護老人ホーム	緑ヶ丘ハイツ	理事・総合施設長	よし だ たけし 吉 田 剛	令和3年4月1日	
短期入所生活介護事業		副施設長		おか ひさ けん いち 岡 久 健 一 (兼務)	令和2年2月1日
診療所	緑ヶ丘ハイツ診療所	所長・医師	あき の え み こ 秋 野 恵 美 子	令和3年1月1日	
認知症グループホーム	つくしんぼ	理事長・総合施設長	おお しろ たか き 大 代 貴 輝 (兼務)	令和2年4月1日	
就労支援事業	羊蹄セルプ				
福祉ホーム	羊 蹄				
居宅介護等事業	つくしんぼ	施設長	おお せこ たく や 大 迫 拓 哉	令和2年4月1日	
居宅介護等事業障がい					
移動支援事業		つくしホーム	副施設長	の ざき さち お 野 崎 幸 男	令和2年5月1日
共同生活援助					
就労支援事業B型	人と人をつなぐ陽だまり				
生活支援ハウス	和				
無料又は低額介護老人保健施設	湯の里・黒松内	施設長	はら しゅう いち 原 修 一	平成30年10月1日	
ユニット型介護老人保健施設		副施設長	しま ひろ し 嶋 宏 志	令和2年2月1日	
短期入所療養介護					
通所リハビリテーション					
訪問リハビリテーション					
養護老人ホーム	慶和園	理事・施設長	しば や つよし 蒔 谷 剛 (兼務)	平成27年4月1日	
短期入所生活介護事業	ユニットケア慶和園	副施設長	やま なか さち よ 山 中 幸 代	令和2年4月1日	
特別養護老人ホーム					
短期入所生活介護事業					
短期入所生活介護障がい					
養護老人ホーム	泊村養護老人ホームむつみ荘	理事・総合施設長	しば や つよし 蒔 谷 剛	令和2年4月1日	
短期入所生活管理指導事業受託事業					
特別養護老人ホーム					泊村特別養護老人ホームむつみ荘
短期入所生活介護事業					
保育所	認定こども園黒松内保育園	施設長	さ とう み ず き 佐 藤 美 次 喜	令和2年4月1日	
地域子育て拠点事業					

年間予定表

2021年度年間計画表（研修及び行事等）

社会福祉法人黒松内つくし園

	会議及び研修	行事・その他
4月	辞令交付式 新任職員研修 奨学資金支給委員会	奨学資金交付式 黒松内保育園入園式 「ブナの里」発行 入学式（つくし園他）
5月	内部監査 監査法人監査（決算監査） 理事会（事業・決算報告）	児童週間行事（つくし園） 苗植えボランティア活動（成人寮）
6月	監事監査 理事会 評議員会（決算承認他）	ふれあい祭り 「ブナの里」発行
7月	内部監査 監事監査 新任フォローアップ 職員研修	児童施設夏休み ビーフ天国参加 むつみ荘夏祭り 利用者・職員健康診断
8月	理事会	慶和園ふれあいの夕べ 湯の里祭り つくしんぼまつり 地域お祭り参加
9月	中堅職員研修 一般職員研修	黒松内保育園運動会 敬老週間
10月	内部監査 監事監査 一般職員研修	慶和園実践報告会
11月	理事会 施設長・副施設長研修	黒松内保育園お遊戯会 町福祉大会 「ブナの里」発行 利用者・職員健康診断
12月	人事考課表集計 黒松内町との懇談会	クリスマス会・おとしとり（各施設） しめ縄体験（しりべし学園成人寮）
1月	内部監査 監事監査 理事会	黒松内町新年交礼会 「ブナの里」発行
2月	給与算定会議 事業計画・予算策定会議	節分行事
3月	理事会（事業計画・予算等）	児童卒業式 黒松内保育園卒園式
その他	各会議・各委員会開催 ・経営会議（毎週1回） ・施設長・副施設長会議（毎月開催） ・苦情解決委員会（2ヶ月に1回） 随時 事務担当者会議・建設委員会・コンプライアンス 委員会・虐待防止委員会・リスクマネジメント委 員会・人事考課委員会・相談員会議・給食担当者 会議・業務改善推進委員会・広報委員会・研修委 員会 研修会参加 ・経営協主催、道社協主催、関係機関団体主催の 研修会へ参加、「e-福祉 J I N Z A I」WEB研 修システムの活用	各施設の施設整備等 後志総合振興局運営指導監査 各施設実習生等受け入れ 各施設創設・開園記念式 各施設避難訓練 社協ふれあい事業参加 町・社協の各委員会等への参加 除雪ボランティア実施 配食サービス実施（週5日昼食） 職場ガイダンス等の参加

2021年度 社会福祉法人黒松内つくし園 研修計画

社会福祉法人黒松内つくし園 研修委員会

2021年度 法人研修の取り組みのキーワードと研修目的

「法人戦略の理解」「強い組織づくり」「法人組織における各役職・職員の役割を理解」

目的…法人経営1本化の必要性和理解～法人事業方針・中長期ビジョンを理解

永年勤続できる働きやすい職場の環境づくり～組織体制の見直しと強化

区分	説 明
事業名称	法人職員研修（階層別研修）
実施の必要性 （根拠）	・社会福祉法 第90条 ・社会福祉法 第89条第2項第2号 ・法人倫理綱領第3条（専門性） ・法人職場研修規程
当該研修 の目的	・各職員が法人の事業戦略を理解し共有する事で、法人役職員として役割を明確にします。 ・法人が求める役職別職員像を理解すると共に、現状把握を通して課題解決策を具体化します。 ・法人研修の開催を通じて強い法人組織・施設組織づくり・環境整備に繋げ、働きやすい職場づくりを目指します。
事業概要	①新任職員研修 ※講師：大代理事長、遊部常務、岡久理事、武井監事補佐 ●研修項目【講義】 ：法人職員としての心構えについて（方針・歴史・倫理綱領・職員として） ②新任職員フォローアップ研修 ※講師：法人研修委員会（担当…忠鉢） 7月 ●研修項目【講義と演習】 ：自分自身についての振り返り、研修で学んだことの進捗状況について評価。これまでの課題・不満・悩みの整理、他者との共有により精神面での負担軽減を図り、今後目指すべき姿を明確にします。 ③一般職員研修 ※講師：大代理事長、遊部常務理事 年間を通して調整 ●研修項目【講義】 ：各施設の園内研修の研修内容に大代理事長、遊部常務理事の講義を入れて対応。講義の内容については、各施設の施設長や幹部職員と打ち合わせをして各施設のニーズに合った講義をして頂く。その際、法人研修委員会の研修内容や法人として実施して欲しい研修についても意見を聞く場とする。 ④施設長・副施設長研修 ※講師：大代理事長 11月～2月 ●研修項目【講義と演習】 ：法人組織における施設長・副施設長及び各役職の役割を再確認。強い組織づくりに向けて施設長及び副施設長が成すべきことを共有し、以後の階層別研修の内容を理解。組織的な職員育成の実践につなげます。

		⑤WEB研修システム ：法人で契約したWEB研修システム（吉岡経営センター）を各施設で活用していく事で職員の育成に繋げていく。
今後の予定		・コロナウイルス感染症の状況にもよりますが、研修委員会を開催し、上記研修状況の確認とWEB研修システムの活用方法や受講した感想等を確認して行く。
予算	収入 支出	・法人本部予算計上（5万円程度／年間予算） ・印刷代、会場賃借代、他事務雑費 外部講師委託費・研修経費 ・今年度については法人内部で研修を行う為、外部講師委託費については予定なし ・WEB研修システム年間利用料 264,000 円